



元気とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2019年07月22日 第928号「週刊五十嵐レポート」

数字のからくり

7月16日付、日経新聞に「中国、6.2%成長に減速(4~6月)、貿易戦争が影。92年以降最低」という記事。4~6月期の成長率は1~3月期より0.2ポイント縮小し、1992年以降で最低となったと、中国の経済成長に急ブレーキがかかったように書かれている。私はいつも不思議に思う。今の時代で年率6.2%の成長率はすごい伸び率ではないのか。それも90年代、2000年代、2010年代と6%以上を維持している。一方、日本はどうか。内閣府の資料によると1~3月実質成長率0.5%(名目0.8%)。低い。

中国と日本の名目GDPを比較してみると(単位:10億米ドル)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
中国	6,066	7,522	8,570	9,635	10,534	11,226	11,221	12,062	13,407
日本	5,700	6,157	6,203	5,155	4,850	4,389	4,926	4,859	4,971

日本は2010年に中国に抜かれてから現在は中国の約1/3に。

日本総合研究所、主席研究員の藻谷(もたに)浩介氏(「デフレの正体」里山資本主義)著)の話を聴いた。彼は言う。『「イメージ」や『空気』は事実と違う。常に事実を数字で確認しないと間違える。』「イメージの多くは『構成比』が根拠。率だけでなく絶対数を見ないと間違える」。

日本はGDPでは中国に離されているが、国際収支では日本は負けていない。国際収支は1985年以降、黒字を続けている。米国、中国、台湾、韓国、インド、タイ、ドイツ、英国、オランダから稼いでいる。一方、中東諸国、ロシア、オーストラリア、ベトナム、は赤字。資源を輸入。スイス、イタリア、フランスも赤字。スイスは時計。イタリアはパスタ。フランスはワイン等と輸入。

1989年4月から消費税を導入。3%から8%。次は10%に。日本のGDPと政府債務(政府の借金)の推移を見ると、この25年ほど名目GDP500~550兆円で推移。2008年から政府純債務残高がGDPを超え、2018年では政府債務が318兆円上回る。消費税を上げていっても、政府債務は減るどころか増加。火に油を注ぐとはこのこと。まずは債務圧縮。与野党だれも言っていない。

ちょっと
気になる出来事

戦略社長塾「社長のリーダーシップ」において、リーダーシップには重要なものが3つあると言われている。

1つ目は、会社の業績を良くしたいという願望、意欲、向上心等の積極的な心構えを持つこと。

2つ目は、社長の仕事遂行能力を高める方法。

3つ目は、従業員と人間関係を良くして、社内の心をまとめ、お客活動に取り組みこと。

これらを実行するためには「習慣」にする必要がある。習慣化。

社長塾に参加されたある人は、日記を書き始めた。

「ランチェスター経営を学び、アウトプットするには、情報を発信しなければならない。仕事柄、全てパソコンに書き入れる。そうすると安心するのか、頭の中には何も残らない。これではまずいと思い。日記というアナログで書いてみる。すると頭に残る。これは新発見」。

メモや記録は人によって違う。私はアナログをデジタル化するように務めている。



一口メモ
知識

「いいこと」と「悪いこと」

「いいこと」をすれば、「いい結果」があります。

これには例外はありません。

「そこそこの結果」しかないのは「そこそこのこと」しかしていないからです。

「いい結果」を得るために、「いいこと」をしようとする、

期待どおりの「いい結果」が出なければ、不満や怒りが出て心が汚れていきます。それでは、「いいこと」にはなりません。

「いいこと」をする目的は、心を清らかにすることです。その目的であれば、期待しても期待しなくても「いい結果」が出ます。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時

●「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時~6時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

